

新型コロナウイルス感染症対応 人材ネットワークについて

- 令和3年10月23日に日本医師会新型コロナウイルス感染症対策本部会議、10月27日に「新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保対策会議」にて本ネットワーク（NW）の立ち上げについて了承
- 12月7日、日本医師会常任理事会において、NWのための厚生労働省補助事業への申請を協議
- 12月21日、日本医師会理事会にて、日医に寄せられた寄付金を財源に本事業に取り組むことを了承

コロナ人材NW

令和3年度厚生労働省補助事業の対象範囲
※令和4年度については調整中

1. 人材育成事業 (研修支援)

②初期対応、自宅療養、後方支援、災害対策等に関する研修

①主に中等症以上の医療を担う医師を養成する研修

2. 人材確保事業 (派遣)

医師派遣

新型コロナウイルス感染症対応 人材ネットワークについて

ネットワークの運営

1. 運営委員会の設置

- 新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保対策会議参加団体（公益社団法人日本医師会含む）、全国医学部長病院長会議、日本慢性期医療協会により構成
- 上記の各団体より幹事（実務を担う役員とする）を選出し、運営委員会を設置。

2. 運営委員会の業務

- 人材育成事業：研修企画団体との連携、研修の開催予定の把握・情報の共有、研修への支援の実施、支援した研修の状況確認
- 人材確保事業：厚労省・構成団体間、各都道府県団体・支部との連携、会員医療機関との連絡、マッチング等委託先の管理、派遣決定、派遣後の状況把握
- 上記の報告とりまとめ

3. 運営委員会の会務運営

- 運営委員会の事務局を公益社団法人日本医師会が担う。
- オンラインないしハイブリッドにて会議を適宜開催する。
- 厚生労働省担当者も運営委員会の会議に参画する。

新型コロナウイルス感染症対応 人材ネットワークについて

1. 人材育成事業（研修支援）

コロナ人材NW構成団体や他の組織（国、都道府県、学会・医療関係団体等）が実施する研修の開催、及び受講生・受講生派遣元医療機関を支援する（情報提供、一定額までの財政支援）

- ・研修先施設への謝礼、施設・設備利用料
- ・講師への報酬、旅費・交通費
- ・研修受講者の旅費・交通費、保険料
- ・その他

※ 財政支援は、緊急包括支援交付金その他国や地方自治体による補助の対象とされていない事項に対して行う

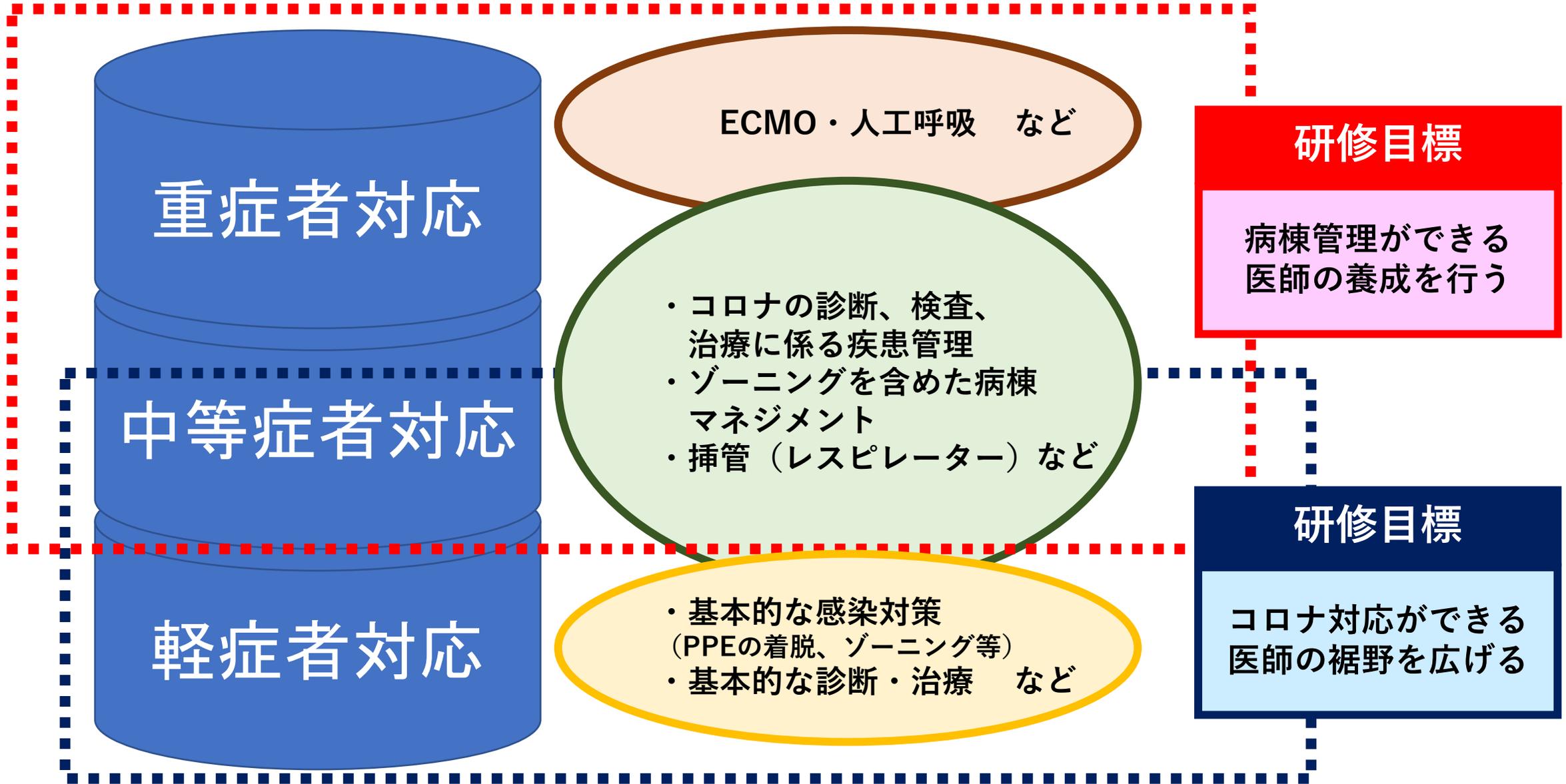
① 主に中等症以上の医療を担う医師を対象とした研修

▶ 情報提供・財政支援は一定の基準を満たしていると判断された場合に行う

② 初期対応、自宅療養、後方支援、災害対策等のための医師等を対象とした研修

▶ 都道府県医師会・病院団体／支部・関係学会・NW構成団体会員病院が実施する研修につき、情報提供・財政支援を行う

重症度分類別に求められる主な業務と研修目標について



目標・水準別の主な研修内容について

	研修目標	研修水準	主な研修内容
コロナ対応経験者向け	<p>病棟管理ができる医師の養成を行う</p> <p style="background-color: #ffa500; padding: 5px; text-align: center;">病院団体と協議の上、 企画・立案中</p>	<p>中等症者対応以上</p>	<ol style="list-style-type: none"> E-learningやオンデマンド動画を活用した研修 国立国際医療研究センターや大学病院等で開催する実践研修 <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸や挿管等、シミュレーターを使ったトレーニング 管理者を対象としたゾーニング、マネジメント研修 今までの経験値を「標準化」するための視察（オプション） など 医療機関へ経験豊富な講師派遣（ECMO Net等）を行う実践研修 <ul style="list-style-type: none"> ▶基本的なことは実践して分かっているが、「本当でこれでいいのか？」確認のための実践研修（オプション） ※前提として、既に一定程度の研修を受講している医師が対象
未経験者向け	<p>コロナ対応ができる医師の裾野を広げる</p>	<p>軽症者～中等症者対応</p>	<ol style="list-style-type: none"> E-learningやオンデマンド動画を活用した研修 <ul style="list-style-type: none"> コロナ対応における基本的な診断や治療について 基本的な感染対策（ガウンやタイベック等の着脱） 基本的なゾーニングの考え方 など ※一般公開しているオンデマンド研修動画の活用 医師会などで開催している集合研修（実地研修含む） <ul style="list-style-type: none"> ※日本医師会で行った実態調査結果を参照

コロナ対応に資する標準研修プログラム

種 類	対 象	教 科	概 要	実地もしくは E-learning	所要時間 (時間)
<初級・中級共通研修プログラム> ※日本医師会寄付金を財源とした補助事業	医 師	流行状況と変異株の状況		E-learning	0.5
	医 師	検査方法と結果の理解		E-learning	0.5
	医 師	薬物的治療法		E-learning	1
	医 師	人工呼吸管理・ECMO管理	ECMOの原理や適用、また専門家へ繋ぐ対応方法など	E-learning	0.5
<中級研修プログラム> ※厚労省補助事業	中等症以上を診療する 医師向け	人工呼吸等の実践的な管理	人工呼吸器や、腹臥位療法、ネーザルハイフローなど呼吸療法全般を学ぶ。	E-learning	1
			E-learningで学んだ人工呼吸器や、腹臥位療法、ネーザルハイフローなど呼吸療法の実践	実地：ECMO Netによる現地指導や、またはNCGMや大学病院等で開催する実践研修	別途設定
<選択式研修プログラム> 職種や職位、経験等によって求められる事項 ※厚労省補助事業	病院管理者向け	COVID-19診療を行う医療機関での病院管理	BCPの運用、対策本部の設置運営、診療体制の構築と流行条項に応じた調整、院内での陽性者発生時の対応など	E-learning	1
	院内感染対策担当者向け (看護職員・医療従事者含む)	医療機関としての感染防止対策、およびクラスター発生時の対応	ゾーニング 入館時スクリーニング、入院時スクリーニング、術前スクリーニングなど COVID-19の院内感染発生時の初期対応、クラスター発生時の感染対策	E-learning	1
			PPE着脱の修練から、E-learningで学んだゾーニングや、入館時スクリーニング、入院時スクリーニング、術前スクリーニングなどの実践	実地：医療機関へ経験豊富な講師派遣を行う実践研修	別途設定
中等症以上を診療する 医師向け	医療機関で業務を通して 行う訓練	人工呼吸や挿管等、シミュレーターを使ったトレーニングを行う。今までの経験値を「標準化」するための視察も含む。	実地：NCGMや大学病院等で開催する実践研修	別途設定	

新型コロナウイルス感染症対応 人材ネットワークについて

2. 人材確保事業

都道府県や病床逼迫地域の医療機関より派遣の求めがあるなど、緊急的に医師確保が必要になった際に圏域を超えた派遣調整を行う

- ・派遣のニーズに応じ、派遣可能な人材を各団体から集約し、本ネットワークに登録（本事業は、在籍出向型派遣）
- ・人材派遣にかかる業務の一部を専門の外部業者へ委託をする

【主な業務内容】

- ①：派遣元・先病院との契約／協定締結の代行
- ②：医師情報・勤務状況の管理
- ③：マッチング案作成（派遣先病院、派遣期間）
- ④：マッチング（派遣調整）（医師への連絡/調整、派遣先・元病院との連絡/調整）
- ⑤：派遣元病院への報告書提出 等

新型コロナウイルス感染症対応 人材ネットワークについて

2. 人材確保事業（医師派遣）

